

Webサービスを中心に、マーケットリーダーである女性目線の販売促進コンサルティングを行うラッシュ・インターナショナル。同社は現在、社員全員が母親だという。出産後すぐに起業した経験から、女性が働き続けられる会社を目指したという倉田満美子代表に話を聞いた。(取材/平野かおり)



倉田満美子代表

女性が家庭と仕事を両立させて働き続けられる職場は少ない。それを実現した数少ない企業のひとつが、倉田満美子代表のラッシュ・インターナショナルだ。もともと車好きだった倉田さんは、地元有名企業であるトヨタ自動車に入社。平成三年、結婚を機に退職したものの、すぐに子供をもうける予定はなかったため、前職の経験を活かしてフリーのPCインストラクターを始めた。

「結婚したら辞めるのが当たり前前の時代でした。それから五年程後には辞めなくても良いようになっていました」  
出産後も役立つ技術を身につけ、手に職をつけたいと考えた倉田さん。もともと理数系だったこともあり、プログラムを勉強。教育用プログラム開発に携わっていたが、プロジェクトの所長に「君は人前で話すほうが向いている」と言われ、製作したプログラムを

説明する仕事へと移った。折しもWindows95が世に出て、学校や企業にPC導入が進んだ時代。早々にマイクロソフト関連資格を取得し、講師実績を積んでいた倉田さんは引く手あまただった。そこで大手のPC教室でインストラクターを始めた倉田さん。しかし教室の教え方と生徒の知りたいたいことの齟齬が次第に気になり始めたという。

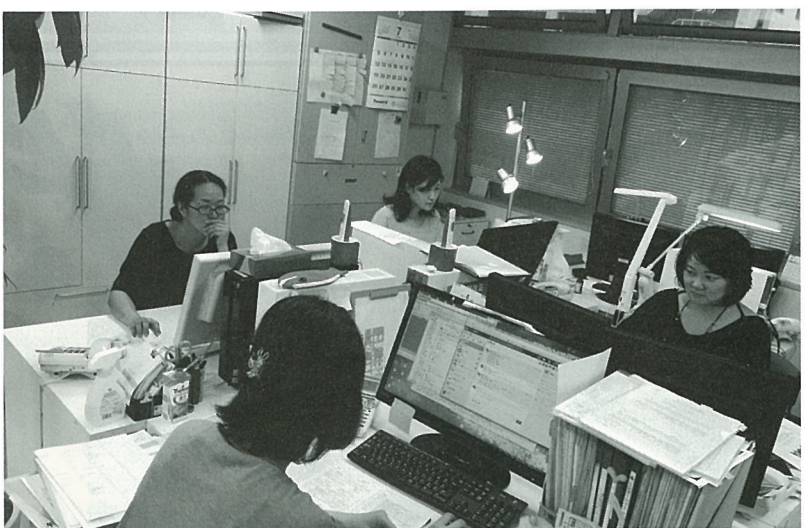
「この相手にはこう教えればわかりやすい。この知識を教えられれば喜ばれる。それがわかるにもかかわらず、大手では細かいニーズに対応できず、空しい気持ちがありました」

企業しよう。倉田さんがそう決断したのは、二人目の子供を出産したすぐ後だった。

幸いにも想いを同じくするインストラクター仲間や独立を支持する固定客があり、PC教室からも「ウチでやれないコンテンツならば問題ない」と後押しされてラッシュ・インターナショナルの前身であるオフィスラッシュを設立。倉田さんは「やりたいことをやる

# 女の人が働き続けられる会社を ずっと守っていききたい

## なでしこ力



### 女性の活気があふれる職場

ため自然に起業を選んだだけで「す」と語る。  
決断は早かったが、実行は決して楽なものではなかった。

「三十代は忙しすぎて、どう暮らしていたか記憶がありません。家事代行を活用し、子供たちには短い時間を凝縮して愛情を伝えました。娘は自立心旺盛に育ち、『昔は淋しかったけれど今は誇りに思

っている』と言ってくれました」

全力で結果を出してきた倉田さんに後悔はない。「一度辞めると仕事に戻るのは難しくなります。そのため、自社も結婚、出産しても働き続けられる制度にしています。意欲のある人は頑張らせてあげたいんです」

自分が苦労してきたからこそ、どうすれば仕事が続けられるかわかると倉田さん。三十代で起業しておいて良かったと語る。

「創業は若い方が良いでしょう。大卒で何も知らずにもが増え、常識ができてくる。自分で自分の限界を定めてしまえます」

勇気、やる気、モチベーションがあれば誰でも起業できる一方、続けていくのが難しいと倉田さん。

「必要とされないものは淘汰されていくため、現代の早い流れの

中で常に誰かのためになることを見極め、順応していかなくてはなりません。その点、サービス業から始めたラッシュは柔軟でした」  
現在、中心となっているのはWeb事業で、インストラクター業務は行っていない。利用者となる女性目線に立って、見たい情報を見やすい位置に配置していくWeb事業は、女性の力を活かすため非常に良いコンテンツだという。

「ただし信念も必要。私の信念は、小さな幸せを続けていくこと。女性がずっと辞めずに働き続けられる会社を守っていききたい。そして、感謝し合いたい。お金を払っているから当然と思われたいのではなく、感謝されるような仕事がない。逆に、お金を払っていても感謝を忘れないようにしたい。そのためにも大事なものは、期待を少しだけ超えることです」

サービスの安売りにならない程度に、ひと工夫すること。それがクライアント獲得につながっていると、倉田さんは秘訣を明かす。

「他社が類似のサービスを行う中で弊社が選ばれるのは、クライ

アントがこの会社や人を好きでいてくれるからだと思います。また、細かい部分まできっちりお手伝いしていることも評価につながっているといます。そういった気遣いは女性ならではの強みです」  
女性の長所を最大限生かす事業展開をしている倉田さんだが、社員に望むのは女性的な母性や気遣いといった面だけではない。

「決して楽な仕事ではありませんから、社員に望むのはガッツがあること。技術も必要ですが、最も大事なのは、会社を好きになっ

てくれることです」  
クライアントの期待に応えるため、倉田さんは時に厳しく社員を叱咤激励する。ラッシュ・インターナショナルにいるのは、それでもついでくる社員ばかりだ。

「嬉しいのは社員が褒められたとき。昔は自分や会社が褒められるのが嬉しかったのですが、最近顧客が私個人ではなく社員を含めて信頼してくれており、良い社員に恵まれて幸せだと感じています」と倉田さんは誇らしげな笑顔を見せた。